

平成21年度、ゆめっと京都市は、府内で活躍する青少年団体・グループを訪問し、活動内容や夢や悩みを取材し、その結果を基にして、各地域での活動報告会を開催することにより、青少年団体・グループを支援しようと考えています。

平成21年9月から、ゆめっと京都の役員が訪問した、地域で活動されている青少年団体・グループの取材内容を紹介します。

訪問した団体

1 京都学生会議所 (京都市)

問. 京都学生会議所の設立から現在までの歩みについて説明していただけますか。

答. 平成20年の第5回京都学生人間力大賞の受賞者が集まり、京都の学生の横のつながりをもっと作りたいという想いから、京都学生会議所が発足しました。「京都学生人間力大賞」とは、京都青年会議所が、人間力溢れる傑出した学生にスポットライトをあて、その活動を広く市民へ発信し、勇気と誇りを持って、京都に愛着を持って活躍してもらおうと開催されているものです。発起人メンバーは、人とのきずな、人とまちとのみずなを深めるために、学生と社会の間に立って、学生の成長をサポートする仕組み作りと京都のまちへの貢献を目指して、準備を進めてきました。

問. 現在の活動を教えてください。

答. 現在、メンバーは、大学の講義や京都学生会議所の活動以外に、環境NGOや患者支援など多方面で自分の得意分野を生かして活動しています。それらの活動の中で、学生と地域がもっと連携して、地域に貢献していけるような社会にしたいと考えています。京都学生会議所のネットワークの拡充と京都の学生間のつながりの構築を目的として、平成21年9月12日に初めてのイベントを開催しました。日本患者学会日本患者学会／福祉ビジネス研究会ブルーバード、NPO法人場とながらボ home's vi、Zukan Projectが新たに開設する共同事務所において、メンバーと面識のある学生を対象として、流しそうめんをした後、オープンスペーステクノロジーを行い、最後に夢を巻物に書いてもらおうと準備を進めています。このイベントに参加してくれた学生には、楽しかった思い出を共有してもらい、今後につなげてほしいと考えています。

問. これからの夢、ビジョンについて教えてください。

答. 京都学生会議所は、学生同士のつながりを深め、学生と地域をつなげる窓口になりたいと考えています。個人のアイデアですが、京都学生会議所のホームページを作って、京都で活動している団体の映像取材を行い、撮影した映像を掲載したり、学生に対するインターン情報や学生スタッフを募集している団体などの情報を掲載して、学生の社会貢献、学生と社会とのきずな作りを進めたいと考えています。また、京都で学生生活を送るにあたって、必要な情報が1冊の手帳に載っていたら、どんなに便利だろうかと考えて、学生の視点からの手帳、京都学生手帳を作成したいと思っています。

問. 課題・悩みはありますか。

答. 学生会議所として活動する人がまだ足りません。横のつながりをもっと作っていききたいと思います。

(今回の訪問を終えて)

京都にはいろんな分野で活動する学生達がおられます。京都学生会議所のメンバーが、地域社会で活躍する学生と一般の学生との橋渡しになって、京都と学生とのきずなの再生に貢献されていくことを期待します。



団体名 京都学生会議所
事業内容 京都の学生間のネットワークの構築
所在地 京都市上京区挽木町518 日本患者学会内

2 IDEゆうゆうスポーツクラブ (綴喜郡井手町)

取材した日は、府立山城勤労者福祉会館、いづみ児童館、多賀小学校で事業を開催されており、対応していただいたお二人に3箇所を案内していただきました。

問. IDEゆうゆうスポーツクラブの設立から現在までの歩みについて説明していただけますか。

答. 平成11年に、井手町で活動する総合型地域スポーツクラブとして誕生しました。井手町におけるスポーツ活動の振興、会員の健全な心身の育成、地域社会の生涯スポーツの発展と地域コミュニティの形成に寄与することを目的に活動してきました。今では、地元で「ゆうゆう」という愛称で、誰でも知っているクラブになりました。会費は、一人年間2,000円で、イベント等によっては、別に材料費等が必要です。会員は、希望の種目を選んで楽しんでいます。

問. 現在の活動を教えてください。

答. 毎月第2第4土曜日の午前中に、井手町内の数カ所、スポーツ教室を開催しています。各会場には、それぞれ地域の小学生が参加しており、中学生や高校生のボランティアが来てくれています。立命館宇治高校からは、1年生の授業で、土曜講座の一環として、3か月間ボランティアで来てくれています。また、地元の中学のクラブからも手伝ってくれています。IDEゆうゆうスポーツクラブは、スポーツ教室だけでなく、世代交流、地域交流のイベントや文化教室を開催したり、休耕田をお借りしての農園活動も行っています。農園では、子ども達が田植えから稲刈りまでを行い、作った餅米で餅つきをしたり、お年寄りとの交流事業として、しめ縄作りを行っています。また、荒廃した竹林の再生にも取り組み、竹の間伐を行い、たけのこ掘りを楽しんだり、竹炭を作ったりしています。去年には、竹の筏で木津川を下りました。水面から見る眺めは、子ども達にとって珍しい光景だったようです。竹を焼いたときに採れる竹酢液は、田んぼに使っており、稲の実りがよいと言われています。平成21年、8月5日から7日、2泊3日で、「IDEゆうゆうアドベンチャー」という事業を実施しました。バス2台を貸し切って、井手町を出発して、京丹後市網野町まで行って来ました。網野町のスポーツクラブとの交流や、臨海学習、キャンプファイヤー、文化交流、竹細工など盛り沢山のプログラムを実施しました。

問. 課題・悩みはありますか。

答. 夏のアドベンチャー事業は、京都府の地域力再生交付金で実施できましたが、冬のスキー教室は助成対象にはなっていません。スキー教室も、貸切バスで移動するため、お金がかかるので、二次募集に応募して、ぜひ助成してほしいと考えています。ゆめっと京都からも、助成金やスタッフ派遣してもらえるとありがたいと思います。

(今回の訪問を終えて)

京都府の南部地域で、スポーツだけにとどまらず、地域との様々な交流を積極的に進めておられる団体です。ゆめっと京都としても応援していきたいと思います。また、今回案内していただいた村田さんから、近々に取り組みされるイベントの紹介がありました。

村田さんは、IDEゆうゆうスポーツクラブと共同で竹林の再生事業に携わっておられるNPO法人エコ井手創造プロジェクトの理事でもあり、京都たけプロジェクト主催の「世界記録に挑戦!そうめん流し大会」にも関わっておられます。平成21年9月23日(水)、井手町万灯呂山の山頂付近からふもとまで、世界最長3000mの竹のそうめん流しに挑戦されるということで、チラシをいただきました。新聞報道によれば、今回は途中で水がなくなって流れきらなかったようです。また挑戦されると思いますので、引き続き目が離せません。

京都府の南部地域で、スポーツだけにとどまらず、地域との様々な交流を積極的に進めておられる団体です。ゆめっと京都としても応援していきたいと思います。

団体名 IDEゆうゆうスポーツクラブ
代表 奥西 康人
事業内容 いろいろなスポーツやレクリエーション・ふれあい交流活動などを通じて、子どもたちが生き生きと活動できる環境を地域のスポーツ団体や社会教育団体などの協力により作る。
所在地 綴喜郡井手町井手二本3-1 井手町教育委員会社会教育課内

